



勝浦市太極拳サークル

新規会員随時募集中

# 美心会だより

## 一江先生とお別れして 1年が経ちました

早いもので、一江先生とお別れして1年が経ちました。2月20日一周忌法要が行われたそうです。一江先生が時には厳しくダメ出しをしてくださり、時には笑いを交えてご指導してくださったのが懐かしいですね。きっと極楽で、大好きなお酒を呑み、ワンちゃんと楽しく過ごしているでしょう。故人を偲ぶことは場所、時間を問わずいつでもできます。春の花を見て、また青空を見て、一江先生にご挨拶しましょう。

合掌



天候に恵まれた一周忌法要

## 勝浦探訪 鵜原理想郷

久しぶりに勝浦の名所をご案内したいと思います。

美心会でも以前訪れ、太極拳を行ったことのある鵜原理想郷。鵜原駅から徒歩約7分。リアス式海岸が続く明神岬一帯。大正初期にここを別荘地とする計画があり、「理想郷」と呼ばれるようになりました。静かな入り江の彼方に青い海が広がり、散策するには格好の景勝地です。行く途中には、薄暗い手彫りトンネルを通るのでちょっと冒険気分を味わえます。

『鵜原理想郷』は、太平洋の荒波に浸食された、典型



浸食の様相が綺麗です

的なリアス式海岸です。深い入り江を覆うように木々や海岸性の植物が、紺碧の海に突き出た岬の先端まで茂り合っています。その複雑な自然造形に惹かれ、古くから多くの文人墨客などが訪れ、数々の作品を残したほど美しく優れた自然景観をもっています。文豪や歌人も魅了された鵜原理想郷。三島由紀夫は短編小説「岬にて」の中で鵜原理想郷の美しさを絶賛。与謝野晶子は、昭和11年4月～5月に友人画伯らと当地に滞在し、76首の歌を詠んでいるほどです。



理想郷からの眺め

～ 与謝野晶子 幻の短歌 ～

鵜原崎横眼の荒く重れるこの岩の質太織(ふと  
おり)つむぎ

岬山赦免の船を待つやうに見えつる人の摘み  
行く蓬(よもぎ)